



シンポジウム

「まちの記憶を育てる—宮城県美術館が紡いできたもの」

〈日時〉2020年9月19日(土) 14時～17時

〈会場〉せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア

〈主催〉宮城県美術館の現地存続を求める県民ネットワーク

1. 開会あいさつ(石川善美共同代表) 14:00-14:05

2. これまでの活動報告 14:05-14:20

3. 顧問に聞く「まちの記憶／宮城県美術館」 14:20-15:50

①佐藤一郎氏(画家・東北生活文化大学学長・東京芸術大学名誉教授)

聞き手:西大立日祥子共同代表

②大宇根弘司氏(建築家・佐藤忠良記念館設計者・元日本建築家協会会長)

聞き手:高橋直子事務局次長

③森まゆみ氏(作家・市民活動家・日本ナショナルトラスト理事)

聞き手:森一郎事務局次長

<休憩 15分間>

*この間に「質問カード」を回収させていただきます。

4. パネリストによるディスカッション(進行:野家啓一共同代表) 16:05-16:45

5. 議論のまとめと今後の活動予定(大沼正寛事務局次長) 16:45-16:55

6. 閉会あいさつ(早坂貞彦共同代表) 16:55-17:00

〈会場における新型コロナウイルス感染防止対策に関して〉

より安全な環境の維持のため、参加者の皆様にも下記の点についてどうかご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

- 会場出入口に手指消毒液を準備しておりますので、適宜ご利用ください。
- ご着席後もマスクをご着用ください。
- 着席時に他の参加者の方々と距離をとれるよう、空席を設けております。ご指定の座席以外へのご着席はご遠慮ください。
- 入場・退場時には、他の参加者の方との距離をとっていただきますよう、お願いします。また、混み合った場合には事務局スタッフが整列をお願いする場合がございますので、ご協力願います。
- 飛沫感染防止のため、今回のシンポジウムではマイクを使った質疑応答を予定しておりません。配布した「質問カード」をとおしてご質問やご意見をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。

1984年地域雑誌「谷中・根津・千駄木」

都市景観と風格を守る——いらないものは作らせない。大事なものは残す。なぜ残すのか。「それが好きだから。なくなったら寂しいから」これが大事。ある時代の規範となる、様式を示すもの。著名な設計者によるもの。壊せばあとは大体東京の場合、超高層になる。

今までに関わった保存運動 主なもの

上野の日本最古のコンサートホール、奏楽堂 明治23 山口半六・久留正道

赤煉瓦の東京駅 大正3 辰野金吾

吉田屋酒店 谷中 明治末 台東区の展示場に

上野駅 昭和11 磯崎新で日本一の高さになるはず。バブル崩壊で自然死
湯島、岩崎久弥邸、地下にゴミ焼却場ができることに。

丸ビル フラー社

日本工業倶楽部、横河民輔

谷中五重の塔再建

同潤会アパートの建て替えに立ち会う。「さよなら同潤会アパート展」

二戸一を都市公団で保存。

上野不忍池地下駐車場反対 海の遺構を守る。植生、動物、渡り鳥の営巣権

富士見坂から見える富士山の景観権、風月の権、遠くの山並みも財産

千駄木・安田楠雄庭園 ナショナルトラストに寄贈してもらう。都の名勝に
朝倉彫塑館が区所有になり、登録文化財、庭は国の名勝に。

登録文化財制度1996以来、地域で多くの登録が。登録に関する誤解。

谷中の観音寺土塀、根津教会、弥生正緑荘、はん亭など。

地域で残すグループの大切さ。台東歴史都市研究会、まちあかり舎

文京建物応援団、谷根千まちづくりファン ド 朝日信用金庫の取り組み。

新国立競技場問題、神宮外苑の環境を未来へ手渡すために。

文書の保存 デジタルアーカイブの構築

生業、個人経営の店の継承 酒屋60→20 豆腐屋22→2 銭湯15→2

一方で、PFI方式の商業ビルとの合築。例、東京オペラシティ、国立劇場

前川國男と岡山

十二月九日に東京外苑前の建築家会館で、「前川國男没後30年」の催しが開かれた。その前座を務めたのは、建築史家松隈洋さんと建築家青木淳さんである時、焼鳥を食べた時に「上野の東京文化会館が一番の偉風景だね。私に空間の力というものを体感させてくれた建物なの」などと口走ってしまったからである。前川國男の伝記を書かれた松隈さんに頼まれ、前座を務めることになった。

東京文化会館の開館は1961年、戦後の罹災者のバラックが密集していた丘の上に東京都が音楽センターを構想した。目の前にはコルビジェ設計の西洋美術館が前年にできていた。この建物も、コルビジェの弟子である前川國男と板倉準三、吉阪隆正の3人が協力して実現したものである。今年になって世界遺産の構成物件となったため見学者がひきもきらない。

1年遅れた東京文化会館は西洋美術館が外壁に丸石をはめ込めば角石を使い、窓の棧は西洋美術館の前庭の目地に合わせ、尊重している。私はここに子供の頃からよく通った。というのは読売日響の指揮者に花束を渡す係を務めていたからだ。コンサートが終わった後、万雷の拍手の中を、舞台の中央に進む。外国人の指揮者に抱きしめられたり、ほおにキスされたこともある。おかげで、小さな頃からシンフォニーやコンチェルトに親しむことができた。

小ホールの方は友達のパianoのおさらい会で行き、建物を駆け回った。私の家は15坪の長屋、4畳半しか知らない子供には、この広いエントランス、照明がきらめく天井、ドキドキしながらホールに向かうスロープ、ホワイエの向こうの森、真っ赤な螺旋階段などが人生をドラマ化してくれるように感じられた。

高校になるとお小遣いを工面して日フィルの定期公演の会員になり、暗い夜の森を抜けて通った。安い四階席から小沢征爾のペルリオーズ、内田光子や潮田益子のコンチェルトを聞いたものだ。隣の席のお見さんと毎回会うのが楽しみだった。

その空間と思えばおかげがえのないものだが、建築家前川國男の仕事の全貌を知ったのは最近だ。十月にも岡山でアートサミットに合わせ前川建築の見学会があると聞いて出かけた。

朝の11時頃着いて、まず岡山の人たちの優しさに感激した。開催中の美術展の案内ブースの若い女性はトランクを入れるロッカーを教えてくれたし、どこもいっばいで林原美術館までバスに乗ろうとしたら、バスの車掌さんが、「市電の方が便利です」と停留所までトランクを持って案内してくれた。さらに市電の車掌さんは、トランクを下までおろしてくれるし、地図を持ってウロウロしていたらわかりにくい林原美術館の入り口まで連れて行ってくれた人もいた。

林原美術館はよく見ると武家屋敷の門構えの向こう側に岡山城を意識した石の外構、

そして焼いたあずき色の外壁煉瓦も美しい建物だった。お昼過ぎには岡山県庁（1957）、大きいのだが権威主義でもない、ガラスや透かしブロックの軽やかで美しい建物である。市民に開かれた通り抜けのできる建物、それが増築で閉じられているのはちょっと残念。床や手すり、あらゆるところに現代建築にはない職人仕事が見える。さらに天保山文化プラザ。入り口のピロティの向こうに緑が見え、子供が遊んでいる。外壁のレリーフ、外側の階段の造形も見事だった。

岡山市民は大きな文化資源を持っている。しかし鉄筋の公共施設の寿命は普通40年とも言うらしい。東京文化会館でも壁の塗り直し、空調や電気設備、ドアや客席の入れ替えなどに改修費用がかかる。それでもこの建物を大事に使っていかう、というには市民の活用と愛着が大切だ。と帰りに「やまと」でラーメンを食べながら考えた。この岡山に根付いた店にも「俺たちのやまとよ、永遠に」なんて書き込みがある。

折しも弘前の前川國男作品については市民の近代建築ツーリズムネットワークができたとか。岡山でも今日のような見学会を続けて欲しい。できたら子どもたちとともに。小さい時に親しんだ建築の質が、審美眼を育てるのだから。

○宮城県美ネット 会員数と今後の活動

1. 宮城県美ネットの会員数

7月21日の設立以後8週間の9月18日現在、個人会員 1137名、団体会員 13社も
の県内外の多くの方から賛同を頂いております。(会員の70%が県内者、30%が県外者)

2. 今後の活動

1)川内にある宮城県美術館を描く100人展

宮城県美術館の現地存続の危機に、県内最大の写生グループ「蔵王写生会」の有志を中心にした美術作家が立ち上がりました。美術館のある川内を描いた作品の募集をよびかけ、応募のあった作品を展示します。

◆期間:10月20日(火)~25日(日)

◆会場:宮城県美術館地下 県民ギャラリー

◆主催/県美を愛する宮城県民の会 共催/宮城県美ネット

◆お知らせ:期間中の10月24日(土)に第2回シンポジウムを企画します。詳細は後日。

2) #宮城県美のここが好き 写真撮影会 @宮城県美術館

◆毎週土曜日 11:30~に宮城県美術館で絶賛開催中!(9月19日を除く)

◆事前のお申込みは不要です。お気軽にご参加ください!

3)出前講座

宮城県はこの秋、宮城県美術館の現地存続と移転集約両案のメリット、デメリットを提示する県民向けの説明会を開催予定です。しかし、問題が複雑でよくわからないという県民も少なくありません。宮城県美ネットのメンバーが美術館問題を解説する出前講座です。

これまでの出前講座:古川、加美、鳴子で行い、毎回熱い意見交換が行われています。
今後の予定は裏面をご覧ください。

4)第2回シンポジウム

(現在、企画立案中です。変更する可能性がありますので、WEBなどでご確認ください!)

◆日時:2020年10月24日(土)

◆会場:宮城県美術館地下県民ギャラリー(予定)

5)宮城県美ネットパレード

(現在、企画立案中です。是非、皆さまご協力ください!後日、WEBや会員ニュースなどでお知らせいたします)

<出前講座スケジュール>

●in 栗原

9月27日(日)13時~15時 栗原文化会館 大研修室(50名)

●in 柴田

10月4日(日)10時~12時 船迫生涯学習センター 会議室1・2(40名)

●in 白石

10月4日(日)14時~16時 白石市中央公民館 和室(25名)

●in 丸森・角田

10月10日(土)16時半~18時半 舘矢間まちづくりセンター大集会室(35名)

●in 亶理・山元

10月11日(日)14時~16時 亶理町中央公民館 2階視聴覚室(40名)

●in 塩竈

10月11日(日)14時~16時 杉村淳美術館和室 (25名)

●in 登米

10月31日(土)15時~17時 宮城芸術文化館(30名)

尚、会場までの地図などの情報は、ホームページに掲載いたします。どうぞご確認ください。

会費:無料

申込方法:①ホームページからは「ニュース・お知らせ⇒出前講座⇒申し込み方法から申し込みフォーム」をお願いいたします。

②ファックスの方は 022-707-5303

(宮城県美ネット事務局あてに、御名前、ご住所、電話番号を明記してください)

③メールアドレス miyagikenbi.net@gmail.com

(宮城県美ネット事務局あてに、『出前講座 in〇〇 参加申し込み』とタイトルをいれ、本文に御名前、ご住所、電話番号を明記してください)

*なお、会場では、コロナ感染防止のため、マスクの着用をお願いしております。どうぞよろしくお願いたします。

*この他の活動も詳細が決まり次第、メールニュースやHPなどでお知らせいたします!